

提出締切：2010年5月20日（木）

2009年度採択 研究推進プログラム「科研費連動型」 研究成果報告書

研究代表者	所属機関・職名： 産業社会学部・教授 氏名： リム ボン
研究課題	同和対策事業終結後の被差別部落における行政依存体質の克服と社会資本の有効活用政策

・研究計画の概要

研究の計画について、平成21年度科学研究費補助金申請時の計画概要を記入ください。

日本では、近年、格差社会の進行に伴ってワーキングプアやホームレスなどの都市貧困層の数が増大し、緊急かつ新たな都市政策の展開が必要となっている。そこで本研究では、同和地区の社会資本に着目した。本研究では、日本において同和対策事業が適用されてきた被差別部落を、運動団体との癒着による行政依存体質から脱却させ、当該地区に蓄積されてきた社会資本を都市再生のための貴重な資源として積極的に活用することを前提としたコミュニティ・エンパワーメント政策のあり方を理論的かつ実践的に検証する。とりわけ、都市計画技術を、従来のような物理的環境改善のみに重きをおいた工学技術に止めるのではなく、貧困対策を超えた多文化共生社会における新たな価値創造システムを構築するための牽引装置として機能させるための条件を解明し、それを実行力ある政策として機能させるためのロードマップを開発する。

・研究成果の概要

研究成果について、概要を記入ください。

表題の研究課題は約4年間におよぶ課題設定であり、科学研究費補助金を獲得することに展開されることを想定している。そこで、2009年度「科研費連動型」プロジェクトにおいては、表題の研究課題の予備調査を実施し、日本における都市貧困地区の現状を古典的スラム論から近年の格差社会問題までの歴史的変遷の中で正確に位置づけるための理論分析と実態調査分析を実施した。

その結果として、欧米におけるホームレス問題と極めて類似する社会現象が増大する一方で、旧来型の同和対策事業にみられるような不良住宅地区問題、あるいは密集地区問題と低所得者問題が複層的に存在し、パターン化しつつあることが確認できた。

本ページはホームページに公開いたします。1ページに収めてください。